

12月上旬配本予定

これはダンスか「大野一雄」は終わらない



編集 NPO 法人ダンスアーカイヴ構想
 発行 若山美術館
 発売 有限会社かんた
 160 ページ A5 判 並製本 日英併記
 ISBN 978-4-902098-10-5
 価格 1,800 円+税 2019 年 10 月 27 日発行

世界的な舞踏家は、日常を何より大事にする人だった。

東京銀座の若山美術館にて開催された展覧会「大野一雄展 日常の糧」(2018 年 9 月 28 日~12 月 8 日) のカタログ。体育教師であり、ボイラーマンであり、サンタクローズであり、信仰者であり、踊りへの情熱の塊であった大野一雄。その生き様を、カラスナップ写真を含めた 200 点の写真で迎える。ヘミングウェイに宛てた手紙を始めとした 4 通の私信、6 人の近い人々の証言も掲載。「大野一雄」の空気を伝える、パーソナルなアルバムを見ているような一冊。

■目次より：幼稚園／稽古場／老人と海／イエスの招き／100 歳／衣装／アントニア・メルセ／ボイラー室／聖劇／ラ・アルヘンチーナ頌／体育教員／モダンダンス／戦争体験／死海／家族／花、草、動物／大野一雄を語る
 *大野一雄からの手紙 (ヘミングウェイへ／ナンシーから／弟子・山口直永へ／戦線より)

表紙写真：ポブ藤崎



ヘミングウェイへの手紙



pp.96-97 クリスマス礼拝で踊る

大野一雄：1906 年函館に生まれる。体育教師として教鞭をとる傍ら、石井漠、江口隆哉よりモダンダンスを学ぶ。兵役による 9 年間の中断の後、1949 年に第 1 回リサイタル。60 年代には、土方巽との共演を行いながら、独自の表現を模索。1977 年、青年時代に出会ったスペイン舞踊の舞姫をたたえる独舞踏「ラ・アルヘンチーナ頌」を発表し、高い評価を受けた。1980 年、第 14 回ナンシー国際演劇祭で海外デビューを果たし、世界の舞踊界に衝撃を与える。以後、世界各地で公演を行い、「Butoh」を世界的に知らしめた。2001 年に歩行が困難となってからも情熱は衰えず、座ったまま手の動きで踊る新たな境地をひらいた。2010 年 103 歳で没。

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX : 03-3721-1922**

tel: 03-6715-6121

mail: info@tsubamebook.com

http://tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	有限会社かんた	
	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
ご担当： 様	冊	これはダンスか「大野一雄」は終わらない 本体 1,800 円+税/A5 判/160 頁並製本/日英完全対訳 ISBN978-4-902098-10-5 C0073